

第 14 回日中韓原子力安全上級規制者会合（TRM）の結果概要

令和 4 年 1 2 月 1 4 日
原子力規制庁

1. 趣旨

本議題は、1 2 月 9 日（金）に開催された第 1 4 回日中韓原子力安全上級規制者会合※（TRM：Top Regulators' Meeting on Nuclear Safety）について報告するものである。

2. 結果概要

令和 4 年 1 2 月 9 日（金）、韓国の原子力安全委員会（NSSC：Nuclear Safety and Security Commission）がホストとなり、第 1 4 回日中韓原子力安全上級規制者会合（TRM）がオンライン会議にて開催された。

原子力規制委員会からは伴委員及び関係者が出席、韓国の原子力安全委員会（NSSC）、中国の生態環境部・国家核安全局（MEE/NNSA：Ministry of Ecology and Environment/National Nuclear Safety Administration）、日中韓三国協力事務局（TCS：Trilateral Cooperation Secretariat）及び中韓の技術支援機関の専門家が出席した。

会合では、日中韓の原子力規制機関の取り組み、及び安全解析コードについて情報交換を行ったほか、日本からは東京電力福島第一原子力発電所の状況に関して情報提供を行った。

※ 日中韓原子力安全上級規制者会合（TRM）は、日本、中国、韓国の原子力規制機関の幹部職員が原子力安全に関する共通課題や技術向上のための有益な情報を共有し、原子力安全の向上と地域協力の強化を図ることを目的とした枠組み。2008 年に設置されて以来、毎年 1 回持ち回りで開催。今回は第 1 4 回の会合。

以上